

(様式1)

個別施策評価調書

(平成30年度実績)

主管部	市民部	
関係部		

基本施策	1-3 スポーツと文化・芸術を振興する
個別施策	② 文化芸術の振興
個別施策の方向	市民の文化芸術に親しむ機会を広め、自主的な文化活動の支援を行うとともに、つくば市らしい独創性のある芸術の振興に取り組む。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)										
H27年度	決算	事業費	52,728	人件費	11,870	事業コスト	64,598			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H28年度	決算	事業費	55,259	人件費	11,598	事業コスト	66,857			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H29年度	決算	事業費	53,992	人件費	10,823	事業コスト	64,815			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H30年度	決算	事業費	56,838	人件費	11,073	事業コスト	67,911			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	42.0%	43.1%	1.1%
17) 文化・芸術			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	<p>つくば市らしい文化芸術の振興、あるいはまちづくりという観点を踏まえた文化芸術の振興に努められたい。</p> <p>また、事業費や経費の執行について枠組みを設定すること、さらに、設備、施設の条件整備も進められたい。</p>	

施策の 取組概要	<p>(公財) つくば文化振興財団と連携して鑑賞型の招へい公演を中心に市内の文化施設等において音楽・演劇等の幅広いジャンルの芸術文化公演事業を年間約20公演開催する。</p> <p>市内文化祭として、市内各地区の地域交流センター、市民ホール、体育館等で、団体及び個人の作品展示やステージ発表を行うほか、音楽会、小中学校芸術展などを開催する。</p>
施策の 成果	<p>文化芸術の拠点施設であるノバホール、つくばカピオを主な会場とし、幅広いジャンルの作品を提供するとともに、国際的に活躍する著名なアーティストによる音楽公演を行い、国際都市つくばらしい事業を行うことができた。また、チケットのインターネット予約販売の普及により利便性の向上が図られたことで、公演数は前年度から6公演増加して26公演、入場者数は3,709人増加して23,817人となった。</p> <p>市民文化祭を開催し、市民が文化芸術を身近に接することにより、文化芸術への興味、関心を育み、意識の高揚を図ることができた。茎崎会場では、くきざき夢まつりと同時開催をすることで、来場者数の増加に繋がった。前年度と比較して、2団体増加して379団体が参加し、来場者は2,374人増加して30,458人となった。</p>
課題と 改善目標	<p>限られた予算の中で質の高い多様な公演等の紹介と集客向上を図る必要があるため、広報等による周知を幅広く行っていく。</p> <p>参加者や来場者が増加する企画を考える必要があるため、見るだけでなく、体験教室等の参加型イベントや子ども達の作品展示を行い、集客につなげていく。</p>

自己評価（所管部署評価）		
自己評価	B+	施策について成果が確認でき、さらなる向上が期待できると判断される。